

Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500



●2014-2015年度RIテーマ  
**LIGHT up ROTARY**  
ゲイリーC.K.ホアンRI会長

●第2510地区重点目標  
RIテーマ「ロータリーに輝きを」  
を推進しよう

**55年の歴史の蓄積の上に乗って  
ロータリーにさらなる輝きを**

●再来週 3月6日(金)のプログラム

◎新会員卓話 佐野会員・富永会員

●来週 2月28日(土)のプログラム

◎ロータリー創立記念3クラブ合同例会

●今週 2月20日(金)のプログラム

◎第55回小樽市内高校優秀卒業生表彰式

**31**

通巻 第2687号  
2015年2月20日発行

**1960年創立**  
昭和35年2月5日

●第30回例会報告 2月13日(金) 創立55周年記念例会(夫人同伴夜間例会) 点鐘:17:00 場所:グランドパーク小樽5階

■国歌斉唱 ■ 「君が代」

■ロータリーソング ■ 「奉仕の理想」

■会長報告 ■ 加藤会長

- ・当クラブは1960年昭和35年2月5日、22名のチャーターメンバーをもって創立総会を開催。翌2月6日RIへ電報にて加盟申請を行い、2月12日RI本部理事会において加盟承認が決議され、全国で353番目、道内で30番目の小樽南RCの誕生でした。その後55年間己の職業を通じ、社会に向けて奉仕の年輪を刻み、小さな力の結集がいくつもの花を咲かせてまいりました。今後とも一歩一歩「奉仕の理想」に基づく蓄積をもちまして地域の発展に小樽南ロータリークラブも一躍を担えるように今後とも頑張るつもりです。
- ・本日は、嵯峨義輝ガバナーエレクトより「卓話」をお願いいたしております「卓話」楽しみにしております後ほど宜しくお願ひ申し上げます。

- ・先日、石上源応会員が悪路の中転倒いたしまして自宅療養中ですのでお見舞いに伺って参りました一日でも早いご回復を願っております。
- ・来週の例会プログラムは第55回目の小樽市内高校優秀卒業生表彰式です。「青少年奉仕委員会」宜しくお願い致します。

■幹事報告 ■ 工藤幹事

- ・来週の例会にて3月29日(日)蘭越で開催の「IM」についてあらためてご案内申し上げます。
- ・2月28日(土)開催の3クラブ合同例会の出席会員数も順調にのびておりますご協力に感謝申し上げます。

■メーキャップ受付 ■ 2月13日分

山田 雅敏 氏、加地 幸広 氏、澁谷 繁男 氏、  
泉 侑 氏、佐藤 慶一 氏、平松 正人 氏、  
宮本 孝雄 氏、星野 昭雄 氏、谷内 馨一 氏  
(小樽RC)

創立55周年記念例会卓話

**ロータリーにかける  
情熱!・思い!**

嵯峨義輝様

(第2510地区ガバナーエレクト・岩見沢RC)

小樽南ロータリークラブの皆さま創立55周年本当におめでとうございます。心から会員皆様方にお祝い申し上げますとともに、ここまでの歴史と伝統を作ってまいりました先達の皆さまに心から敬意を表したいと思います。



\* \* \* \* \*

**ラビンドラン 2015-2016年度RI会長エレクト**

「世界へのプレゼントになろう」とラビンドラン会長エレクトが呼びかける。

1月18日(日)、米国サンディエゴで開催した国際

協議会で、K.R.ラビンドラン国際ロータリー会長エレクト(スリランカ、コロンボ・ロータリークラブ会員)が、2015-2016年度のテーマ「世界へのプレゼントになろう」を発表しました。

この日を「人生で最も大切なとき」と呼んだ会長エレクトは、次のように述べました。「ここにおられる皆さんは、多くを与えられた方々です。そして今、皆さんに最高のプレゼントが与えられようとしています。それは、授けられた才能と持ちうる力の限りを尽くして、“世界へのプレゼント”となることので

きる1年です。(中略)このために皆さんに与えられた時間は1年です…この時間はあまりに短く、成すべきことはあまりに多くあります。(中略)次年度、信念、情熱、才能を捧げるだけでなく、皆さん自身を世界へのプレゼントとして捧げてください」詳細は、My Rotaryを参照ください。

(Rotary International District 2740 Official Web Site) 参考。

※誌面の都合上、次年度のテーマについての記載のみになりましたことをお詫び申し上げます。

私たちの人生には、いつか終わりが訪れます。しかも、終わりは思ったより早く来るものです。この限られた人生をどのように過ごしたらいいのでしょうか。世界が良い場所となるよう、人のために何かしますか。それとも、インドの著名な詩人、ラビンドラナート・タゴールの言葉のように、「楽器の弦の張替えばかりしていて、肝心の歌を歌わずに」毎日を過ごしますか。

ロータリーの栄光は、まさにその「歌を歌う」道を見つける手助けをしてくれることにあります。人生で本当に大切なことに目を向け、私たち自身が世界への贈り物となる方法を見つけることで、より充実した意義ある人生を送れるよう、私たちを導いてくれるのです。

友人に何を求めるかを考えると、ほとんどの人は、高潔性、信頼性、思いやり、相性を挙げるでしょう。私たちが求める友人とは、必ずしも自分と似通った人ではなく、自分にないものを持っている人、自分のいいところを引き出してくれる人です。私は、ロータリーがその特徴を備えていると思います。

ロータリーは、私たちの資質を引き出し、それを人生で生かす道を見つけてくれます。

私たちは往々にして、あまり意味のないことに捕らわれて毎日を過ごし、物を手に入れるために身をやつしませぬ。しかし、私たちがこの世を去った後、人が思い起こすのは、私たちが生前乗っていた車でも、着ていた服でも、肩書きでも、役職でもありません。より大きな資産や、より高い地位を得ようと払った努力のことでありませぬ。

結局のところ、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。

ですから、苦しんでいる人から目を背けずに、その苦しみを和らげてあげましょう。同情の言葉をかけるだけでなく、実際に何かしてあげましょう。社会から享受するだけでなく、社会に貢献しましょう。

2015-16年度の私たちのテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。

地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かを持っているはずで、私たちは、ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことができるはずで、

会長テーマ

# 世界への プレゼントになろう



2015-16年度  
国際ロータリー会長  
K. R. ラビンドラン

「人は手を閉じて生まれ、手を開いて世を去る」、また「己の才能は、天から授かったもの」と言われます。ですから私たちは、その授かりものをお返しするのです。

私たちは皆、この世に生まれ、何でもつかみ取ろうとしますが、この世を去るときにはすべてを残していきます。ロータリーを通じて私たちは、いつまでも続く、本物の何かを残すことができるでしょう。

私たちに与えられた時間は今です。この機会は二度と訪れるものではありません。

「世界へのプレゼントになろう」



# 小樽南ロータリークラブ 創立55周年記念祝賀会



## 祝 辞



第 2510 地区ガバナー  
羽 部 大 仁 様

只今ご紹介戴きました、国際ロータリー第 2510 地区ガバナーの羽部大仁でございます。所属は札幌南ロータリークラブの会員です。

さてお許しを願ひまして一言お祝いを申し上げます。本日は小樽南ロータリークラブが、創立 55 周年を迎えられたことを地区内の会員を代表してお祝い申し上げます。おめでとうございます。

今日の創立 55 周年の陰には、スポンサーをなされた小樽ロータリークラブ様の熱心なご指導と、当時の真崎建夫ガバナーと寿原九郎特別代表の卓越したリーダーシップのもとに 22 名のチャーターメンバーによって創立されたので御座います。

また地区に於きましては 1989-90 年度に初谷真一地区ガバナーを輩出し、毎年多くの地区委員長・地区委員が輩出され地区運営にも大きく貢献するクラブです。今日までの先人、先輩のご苦勞に対しまして心から深甚なる敬意を申し上げる次第で御座います。併せて本日の式典が盛大に挙行されますことを同慶に存じ重ねてお慶びを申し上げます。

ロータリーは、この 2 月 23 日に創立 110 周年を迎えます。ロータリー運動は既に高齢化し、再起が難しいと言う人さえいます。

しかし私はそうは思いません。世界中は一刻も留まってくれません。今年度ゲイリー・ホァン国際ロータリー会長は「ロータリーに輝きを」をテーマに掲げて、地域社会の現状を見極めて、一人でローソクを灯すよりも 120 万会員皆でローソクを灯したら世界中を輝かすことが出来ます。積極的に行動して下さいと力説されました。地区一丸となってこのテーマを推進しておりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

小樽南ロータリークラブは、ロータリーの理念に基づいた奉仕と親睦を両立したクラブです。地域社会と密着した社会奉仕活動や青少年活動への援助、高齢者へのボランティアなどがあります。又本日 55 周年を記念して益々、超我の奉仕が会員ひとり一人の善意によって推進されることを期待しております。

ロータリーは奉仕の理想を掲げて今日まで推進し、

世界平和と人類の幸福を目指して活動して参りました。

今後も地区内の会員皆様と地域社会に密着した奉仕活動を実践し、奉仕の心、思いやりの心を多くの人に伝えて戴きたいと思ひます。

記念すべき創立 55 周年を迎えられました小樽南ロータリークラブの益々の発展と会員皆様のご健勝を願ひて、祝辞といたします。

## 祝 辞



小樽 RC 2014-15 年度会長

坂 田 道 昭 様

このたび、皆様の小樽南ロータリークラブが創立 55 周年をめでたく迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴クラブが 55 年の長きにわたり、立派な歴史と伝統を築き上げられたことに、特に近年の活発な奉仕活動に、敬意を表する次第です。

55 年前の小樽南ロータリークラブ設立時には、私とも小樽クラブより、後にガバナーになられる初谷様他神野、高山、山口様などの会員が転出し、チャーターメンバーとなられ、また、クラブとして創立のお手伝いをさせていただいたとの記録がございます。

諸先輩は、今の小樽南ロータリークラブの各方面での活躍ぶりを天の上からご覧になったら、きっと、目を細めていることと拝察します。

今年、ロータリーができて 110 年目にあたり、55 周年の小樽南ロータリークラブは、今年からロータリーの歴史の過半数の歩みを、始めることとなります。

また今回、初谷ガバナーのもとで地区幹事をされた斎田様が、アシスタントガバナーに就任されるとのこと、第 6 グループはもとより地区内の多くのクラブ会員より、大きな期待が、小樽南クラブに注がれることと存じます。

昭和 34 年 7 月 7 日の小樽クラブの記録では、池田会長新任のあいさつ、寿原会員のお世話で第 2 クラブを結成することに踏み切り、願わくば待望の兄弟クラブの結成を祈る。とありました。

小樽ロータリークラブと小樽南ロータリークラブが今後も切磋琢磨する兄弟として、共に助け合い、競い合い、ロータリーの友情と奉仕の輪を広げていくことを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。



# 創立55周年記念祝賀会 スナップ写真



親睦委員会一同



司会 板垣会員



創立55周年祝賀会挨拶  
加藤会長



乾杯の発声  
志比川第6Gカバナー補佐  
(蘭越RC)



姉妹クラブ酒田RC  
荒生栄治副会長



友好クラブ 横浜中RC  
武藤健一会長エレクト



飛行機の遅延で、手に手つない  
でのみの参加になってしまった。  
友好クラブ横浜中RC加藤正泰会長



廣部会長エレクトによる中締め

## 懇親会風景



手に手つないで・・・

